

# 平成 28 年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の 活動状況調査＜調査結果＞

## 1. 背景・目的

がん検診を効果的に行うには適切な精度管理がきわめて重要<sup>注)</sup>です。住民検診の精度管理においては、都道府県主導で生活習慣病検診等管理指導協議会（以下、協議会）等を活用して行うことが求められています。そこで、各都道府県の精度管理に関する取り組みを把握するため、「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」<sup>※1</sup>の遵守状況や、がん部会の活動状況について調査を行いました<sup>※2</sup>。

※1 「事業評価のためのチェックリスト」は平成 20 年に厚生労働省の「がん検診に関する検討会」及び「がん検診事業の評価に関する委員会」において、都道府県が遵守すべき精度管理の要点がまとめられたものです。

※2 本調査は平成 23 年度から開始し、今回は 6 回目にあたります。調査票の作成及び調査結果の分析については、平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（がん対策推進総合研究事業）「検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班（研究代表者 斎藤博）の協力を受けました。

### 注) 精度管理の重要性について

がん検診は、有効性（がん死亡率減少効果）がある検診を前提に、精度管理により質を高く維持することで初めて成果につながります。これは海外で死亡率減少を実現している国で示されており、精度管理体制の水準の高低によって、検診の成果（死亡率減少）があがるかどうかが決まります。

また検診には必ず不利益（検査による合併症、偽陰性、偽陽性など）が存在します。精度管理は不利益を極力抑え、最小化するためのシステムとしても不可欠です。このシステムがないと、検診規模が拡大するにつれ不利益が増大して利益を上回ってしまい、検診の成果が期待できないだけでなく、住民に不利益のみを与える可能性もあります。

精度管理の手法は平成 20 年に厚生労働省から公表（下記ホームページ参照）されました。都道府県が行う精度管理の要点は、市区町村や検診施設間の質のバラつきを抑え、どの地域の住民に対しても同等の質の高い検診を提供することです。

ホームページ「科学的根拠に基づくがん検診推進のページ <マネジメント>」参照  
<http://canscreen.ncc.go.jp/management/index.html>

## 2. 調査方法

### 1) 調査対象、調査期間

調査対象は全都道府県、および、各都道府県の胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会としました。調査への回答は、各都道府県のがん検診担当課宛に依頼しました。調査期間は平成 29 年 1～8 月としました。

### 2) 回答方法

調査への回答は平成 28 年度に実施された内容（実績）に基づき、各項目についてそれぞれ○（回答期間内に実施した）、△（回答期間中には実施していないが、平成 29 年 8 月末日以降に確実な実施予定はある）、×（未実施かつ今後も実施予定が無い）の選択肢から回答を得ました。本調査では、原則回答が○の場合に各項目を「実施した」としました（△は含まない）。

### 3) 調査内容

平成 28 年度に実施した精度管理の取り組みについて、以下の項目で伺いました。

#### ◆ 調査 1 精度管理指標の把握状況に関する調査（集団検診、個別検診）

調査 1 では、「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」の項目<sup>※3</sup>をもとに、平成 28 年度に精度管理指標を把握しているか、またどの程度詳細に把握しているかについて伺いました<sup>※4</sup>。

※3 がん検診の現場では検診技術の発展、学会規約の改訂、全国がん登録の開始など、さまざまな変化があり、現状にはそぐわないチェックリスト項目は調査から除外しました。

※4 地域保健・健康増進事業報告の提出時期の関係で、本調査の期間中に行政担当者が把握可能な最新の確定データは平成 26 年度のものであります。従って本調査では、平成 26 年度のデータを把握しているかについて伺いました。ただし、一部の都道府県は従来から 3 年前（あるいは 1 年前）のプロセス指標を把握しており、本調査ではその場合も○（実施した）としました。

#### ◆ 調査 2 事業評価の実施状況に関する調査（集団検診、個別検診）

調査 2 では、平成 28 年度に都道府県として事業評価を実施したか、また、がん部会としての事業評価を実施したかを伺いました。

### 4) 結果の評価方法（集団検診）

集団検診における精度管理の取り組みについて、調査 1、調査 2 を基に以下の評価を行いました。なお、個別検診については来年度以降に評価します。

#### ◆ 都道府県用チェックリスト（60～64 項目）の遵守状況

調査 1、調査 2 のうち「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」に該当する項目<sup>※</sup>

<sup>5</sup>の遵守状況により、以下A～Eの5段階で評価しました。

＜遵守状況の評価基準＞	A：×の項目数が0
	B：×の項目数が1-17
	C：×の項目数が18-35
	D：×の項目数が36以上
	E：無回答

※5 6ページの右端欄が●の項目

#### ◆ 協議会（がん部会）の活動状況

調査2のうち、がん部会の活動状況により、以下A～Eの5段階で評価しました。

＜がん部会における活動状況の評価基準＞
1. がん部会開催の有無
2. がん部会の検討結果公表の有無
3. (2. で公表を行っている場合) がん部会が公表すべき項目 <sup>※6</sup> のうち、公表されなかった数(×の数)。ただし、がん部会の検討結果が公表準備中の都道府県は評価保留とする。未回答の項目は×として集計する。
A：1. がん部会開催済、2. がん部会の検討結果公表済、3. ×の項目数が0
B：1. がん部会開催済、2. がん部会の検討結果公表済、3. ×の項目数が1-3
C：1. がん部会開催済、2. がん部会の検討結果公表済、3. ×の項目数が4-6
D：1. がん部会開催済、2. がん部会の検討結果公表済、3. ×の項目数が7以上 もしくは2. がん部会の検討結果未公表（今後も公表の予定がない）
E：無回答、がん部会未開催（今後も開催の予定がない）
※6 調査2では、がん部会が公表すべき項目として、以下の9項目を設定した
・市区町村のチェックリスト遵守状況（市区町村名入りが必須）
・検診機関のチェックリスト遵守状況（検診機関名入りが必須）
・市区町村のがん検診プロセス指標（市区町村名入りが必須）
・検診機関のがん検診プロセス指標（検診機関名入りが必須）
・チェックリスト遵守状況が要改善の市区町村名と、改善指導の内容
・チェックリスト遵守状況が要改善の検診機関名と、改善指導の内容
・精検受診率が要改善の市区町村名と、改善指導の内容
・精検受診率が要改善の検診機関名と、改善指導の内容
・都道府県のチェックリスト遵守状況

### 3. 結果

45 都道府県から回答を得ました。調査結果及び評価結果の概要を以下に示します。  
また結果の一覧表は 6 ページ以降に示します。

#### 1) 調査結果の概要

各項目の実施状況は概ね 5 がん共通で、集団検診が個別検診を上回っていました。  
以下、実施状況が比較的良好な項目（目安として実施率が 5 がん共通で 80%以上）、更に改善を要する項目（目安として実施率が 5 がん共通で 30%以下）、集団/個別検診で実施状況が大きく異なる項目（目安として個別検診の実施率が集団検診より 20 ポイント以上低い項目）について、該当項目を示します。

#### ◆ 調査 1 精度管理指標の把握状況に関する調査

##### ① 集団/個別検診共に実施状況が良い項目（実施率 80%以上の項目）

- ・受診者数、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の単純把握、市区町村別集計

＜該当項目＞ 1 (2)、1 (2-2)、2 (1)、2 (1-2)、3 (1)、3 (1-2)、4 (1)、4 (1-2)、  
4 (6)、4 (6-2)

##### ② 集団/個別検診の乖離が特に大きい項目（個別検診での実施率が、集団検診より 20 ポイント以上上下回っていた項目）

- ・要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の検診機関別集計

＜該当項目＞ 2 (1-3)、3 (1-3)、4 (1-3)、4 (6-3)

##### ③ 集団/個別検診共に実施していない都道府県が多く、改善を要する項目（実施率 30%以下の項目）

- ・発見がんの追跡調査　＜該当項目＞ 4 (7)、4 (7-1)、4 (7-2)
- ・偽陰性例の把握　　＜該当項目＞ 5 (1)、5 (2)、5 (3)

#### ◆ 調査 2 事業評価の実施状況に関する調査

##### ① 集団/個別検診共に実施状況が良い項目（実施率 80%以上の項目）

- ・がん部会の設置、がん部会の開催、プロセス指標値の検討

＜該当項目＞ 7 (1)、7 (3)、8 (2)

##### ② 集団/個別検診の乖離が特に大きい項目（個別検診での実施率が、集団検診より 20 ポイント以上上下回っていた項目）

- ・検診機関チェックリストの遵守状況の把握・検討（都道府県として実施、がん部会主導で実施）

＜該当項目＞ 8 (1-2)、8 (1-2a)

③ 集団/個別検診共に実施していない都道府県が多く、改善を要する項目（実施率30%以下の項目）

- ・精度管理に問題のある市区町村、検診機関の抽出、改善策の検討、助言・指導の実施  
＜該当項目＞ 8 (2-3)、8 (3)、8 (4)、9 (2-2)、9 (2-4)
- ・事業評価結果の情報公開  
＜該当項目＞ 10 (1-2a)、10 (1-4)、10 (1-4a)、10 (1-5)、10 (1-6)、10 (1-7)、  
10 (1-8)
- ・がん部会主導による事業評価全般  
＜該当項目＞ 10 (1-2b)、10 (1-4b)、10 (1-5a)、10 (1-6a)、10 (1-7a)、10 (1-8a)、  
10 (1-9a)

## 2) 評価結果の概要

都道府県用チェックリストの遵守状況、及び協議会（がん部会）の活動状況共に、「C」評価以下の都道府県は17～20県あり、当該都道府県には改善に向けて努力していただくよう文書で依頼しました。

平成 28 年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査  
調査結果及び評価結果一覧

1-1. 調査 1 精度管理指標の把握状況に関する調査（平成 28 年度実施体制）

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数：45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県) 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
<b>1. 受診者の把握</b>											
(1) 平成28年度の対象者数（推計を含む）を把握しましたか （胃がん検診では、胃部内視鏡/胃エックス線検査両方の対象者数を把握した場合のみ○とする）	73.3	64.4	75.6	64.4	75.6	62.8	75.6	64.4	75.6	66.7	●
(2) 平成26年度の受診者数を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(2-1) 平成26年度の受診者数（率）を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(2-2) 平成26年度の受診者数（率）を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(2-3) 平成26年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	44.4	24.4	42.2	20.0	44.4	25.6	44.4	24.4	44.4	22.2	●
(2-4) 平成26年度の受診者数を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	66.7	62.2	64.4	60.0	64.4	58.1	66.7	62.2	66.7	62.2	●
<b>2. 要精検率の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度の要精検率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	82.2	●
(1-2) 平成26年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	95.6	86.0	100	91.1	100	91.1	●
(1-3) 平成26年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	42.2	20.0	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	20.0	●
(1-4) 平成26年度の要精検率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	53.3	●
<b>3. 精検受診率の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度の精検受診率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(1-2) 平成26年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-3) 平成26年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	42.2	22.2	40.0	20.0	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	22.2	●
(1-4) 平成26年度の精検受診率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	57.8	●
(2) 平成26年度の精検未把握率を把握しましたか	84.4	75.6	84.4	75.6	82.2	72.1	84.4	75.6	84.4	77.8	●
解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び（精検受診したとしても）精検結果が正確に分からないもの全て											
<b>4. 精密検査結果の把握</b>											
肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする											
(1) 平成26年度のがん発見率を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-1) 平成26年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	82.2	●
(1-2) 平成26年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(1-3) 平成26年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	40.0	17.8	42.2	20.9	42.2	22.2	42.2	20.0	●
(1-4) 平成26年度のがん発見率を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	60.0	57.8	57.8	55.6	57.8	53.5	60.0	57.8	62.2	60.0	●
(1-5) 平成26年度のがん発見率を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか							75.6	68.9			●

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県) (2) 平成26年度の原発がんに対する早期がん割合を把握しましたか 解説: 肺がんでは、臨床病期 I 期がん割合、乳がんでは臨床病期 I 期までのがん割合	84.4	80.0	84.4	80.0	82.2	76.7	84.4	80.0			●
(2-1) 平成26年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか	73.3	68.9	75.6	71.1	73.3	67.4	77.8	73.3			●
(2-2) 平成26年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	77.8	73.3	80.0	75.6	75.6	69.8	80.0	75.6			●
(2-3) 平成26年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	33.3	17.8	31.1	15.6	33.3	18.6	31.1	17.8			●
(2-4) 平成26年度の早期がん割合を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	55.6	53.3	53.3	51.1	55.6	51.2	60.0	57.8			●
(2-5) 平成26年度の早期がん割合を検診方法別(マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用)に集計しましたか							68.9	62.2			●
(3) 平成26年度の粘膜内がん(胃がん、大腸がん)・非浸潤がん(乳がん)を区別しましたか	80.0	73.3	80.0	73.3			77.8	71.1			●
(4) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を区分毎に集計しましたか 解説: 病変は①~④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数									71.1	66.7	●
(4-1) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を年齢階級別に集計しましたか									73.3	68.9	●
(4-2) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を市区町村別に集計しましたか									75.6	71.1	●
(4-3) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を検診機関別に集計しましたか									28.9	15.6	●
(4-4) (子宮頸がん検診)平成26年度の上皮内病変(CINなど)数を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか									51.1	48.9	●
(5) (子宮頸がん検診)平成26年度の発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しましたか 解説: 微小浸潤がんは病期 Ia1及び Ia2期のもの									71.1	66.7	●
(5-1) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか									71.1	66.7	●
(5-2) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか									68.9	64.4	●
(5-3) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか									26.7	17.8	●
(5-4) (子宮頸がん検診)平成26年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか									51.1	48.9	●
(6) 平成26年度の陽性反応適中度を把握しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(6-1) 平成26年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか	86.7	82.2	86.7	82.2	84.4	79.1	86.7	82.2	86.7	84.4	●
(6-2) 平成26年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	100	91.1	100	91.1	93.3	83.7	100	91.1	100	93.3	●
(6-3) 平成26年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	42.2	20.0	40.0	17.8	42.2	20.9	42.2	20.0	42.2	20.0	●
(6-4) 平成26年度の陽性反応適中度を検診受診歴別 <sup>注1)</sup> に集計しましたか	57.8	55.6	55.6	53.3	55.6	51.2	57.8	55.6	57.8	57.8	●
(6-5) 平成26年度の陽性反応適中度を検診方法別(マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用)に集計しましたか							73.3	71.1			●
(7) 平成26年度の発見がんについて追跡調査を実施しましたか	26.7	24.4	26.7	24.4	26.7	23.3	26.7	24.4	24.4	22.2	●
(7-1) 平成26年度の発見がんの追跡所見・病理所見について把握しましたか	24.4	22.2	24.4	22.2	24.4	20.9	24.4	22.2	22.2	20.0	●
(7-2) 平成26年度の発見がんの予後調査(生存率・死亡率の分析など)を実施しましたか 解説: この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である	6.7	6.7	6.7	6.7	8.9	7.0	6.7	6.7	6.7	6.7	●

回答数: 45都道府県		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	※
<b>5. 偽陰性例（がん）の把握 検診の実施年度は問いません</b>							
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である							
(1)	（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しましたか	4.4	4.4	4.4	2.2	2.2	●
解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがん（基本的には1年未満に発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年未満に発見された乳がん・子宮頸がん）							
(2)	偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか	0	0	0	0	0	●
(3)	検診受診後1年以上経過してから発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された乳がん、子宮頸がんを把握しましたか	2.2	2.2	4.4	2.2	2.2	●
解説： 住民検診受診後、規定された次回の検診（基本的には、胃・大腸・肺がん検診は1年後、乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがん							
<b>6. 不利益の調査 検診の実施年度は問いません</b>							
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である							
<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計している</li> <li>主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書<sup>注2)</sup>を送付し、その後報告されたものを集計している</li> </ul>							
(1)	検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか	42.2	42.2	42.2	42.2	42.2	●
解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く							
(2)	精密検査による偶発症を把握しましたか	51.1	51.1	51.1	51.1	51.1	●
(2-1)	消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか	31.1	33.3	31.1	31.1	31.1	●
(2-2)	その他の重要な偶発症を把握しましたか	33.3	35.6	33.3	33.3	33.3	●
解説： 入院治療を要するもの（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）							

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別：初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者（肺がん）

注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています

【注意事項】

- 平成28年度に実施された内容（実績）に基づき、回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答していただくようお願いしましたが、本調査結果では○の実施率のみ集計しています。
- 市区町村別、検診機関別等の設問では、全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合のみ○とご回答いただきました。なお、本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）を指します。
- 胃がん検診については、胃内視鏡検査/胃部エックス線検査で共に体制を満たしている場合のみ○と回答していただきました。（都道府県全体で胃部エックス線検査のみ実施している場合は、胃部エックス線検査の実施体制について回答をお願いします。）
- プロセス指標の集計に関する設問では、今年度調査に限り、検診方式（集団、個別検診）別に集計してなくても全体（集団+個別）の値を集計している場合には集団検診を○、個別検診を×と回答していただきました。

【本調査の対象年度について】

平成28年度のがん検診ご担当者把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- 平成28年度の検診対象者
- 平成26年度の検診のプロセス指標<sup>※※</sup>

※※ 各都道府県の方針により、平成25年度のデータ（最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値）や平成27年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。

1-2. 調査 2 事業評価の実施状況に関する調査（平成 28 年度活動状況）

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

回答数：45都道府県		胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
<b>7. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営（平成28年度実施体制）</b>												
(1)	がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係わる専門家によって構成されていますか	95.6		95.6		95.6		95.6		95.6		●
解説：全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも医師会の参加が無い場合は×とする												
(2)	がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、精密検査機関等と調整を行っていましたか	75.6		73.3		75.6		75.6		75.6		●
(3)	平成28年度のがん部会を開催しましたか	88.9		84.4		86.7		84.4		86.7		●
(4)	年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか	84.4		73.3		80.0		75.6		80.0		●
解説：生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関(例：対がん協会支部など)が行っている場合は○とする												

※ ●事業評価のためのチェックリスト（単位：％）

回答数：45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)		胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
<b>8. 事業評価に関する検討（平成28年度実施体制）</b>												
(1)	チェックリスト（平成28年度検診分）に基づく検討を実施しましたか	80.0	77.8	80.0	77.8	80.0	79.1	80.0	77.8	80.0	77.8	●
	(1a) (1)はがん部会として実施しましたか	64.4	57.8	60.0	55.6	62.2	55.8	60.0	55.6	62.2	55.6	
(1-1)	個々の市区町村のチェックリスト（平成28年度検診分）について把握・検討しましたか	77.8	77.8	75.6	75.6	75.6	76.7	75.6	75.6	75.6	75.6	●
	(1-1a) (1-1)はがん部会として実施しましたか	60.0	53.3	55.6	51.1	57.8	53.5	55.6	51.1	57.8	51.1	
(1-2)	個々の検診機関のチェックリスト（平成28年度検診分）について把握・検討しましたか	51.1	24.4	51.1	24.4	51.1	25.6	51.1	26.7	51.1	26.7	●
	(1-2a) (1-2)はがん部会として実施しましたか	46.7	17.8	44.4	17.8	46.7	18.6	44.4	20.0	46.7	20.0	
(1-3)	都道府県のチェックリスト（平成28年度検診分）について、把握・検討しましたか	62.2	60.0	62.2	60.0	62.2	60.5	62.2	60.0	62.2	60.0	
	(1-3a) (1-3)はがん部会として実施しましたか	40.0	37.8	40.0	37.8	40.0	37.2	40.0	37.8	40.0	37.8	
(2)	要精検率等のプロセス指標（平成26年度検診分）に基づく検討を実施しましたか	88.9	86.7	88.9	86.7	88.9	88.4	88.9	86.7	88.9	86.7	●
	(2a) (2)はがん部会として実施しましたか	80.0	75.6	77.8	73.3	77.8	74.4	77.8	73.3	80.0	75.6	
(2-1)	プロセス指標（平成26年度検診分）について、全国数値との比較や、各市区町村間、検診機関間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	84.4	80.0	84.4	80.0	82.2	79.1	84.4	80.0	84.4	80.0	●
	(2-1a) (2-1)はがん部会として実施しましたか	73.3	68.9	71.1	66.7	71.1	67.4	71.1	66.7	73.3	68.9	
(2-1-1)	市区町村のプロセス指標（平成26年度検診分）について、各市区町村間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	84.4	77.8	84.4	77.8	82.2	76.7	84.4	77.8	84.4	77.8	
	(2-1-1a) (2-1-1)はがん部会として実施しましたか	73.3	66.7	71.1	64.4	71.1	65.1	71.1	64.4	73.3	66.7	
(2-1-2)	検診機関のプロセス指標（平成26年度検診分）について、各検診機関間でのばらつき確認等の検証を実施しましたか	46.7	28.9	46.7	28.9	46.7	27.9	46.7	28.9	46.7	28.9	
	(2-1-2a) (2-1-2)はがん部会として実施しましたか	40.0	22.2	37.8	20.0	40.0	20.9	37.8	20.0	40.0	22.2	
(2-2)	プロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた市区町村から、聞き取り調査等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	62.2	57.8	60.0	55.6	60.0	55.8	57.8	53.3	60.0	55.6	●
(2-3)	プロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた検診機関から、聞き取り調査等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	20.0	13.3	20.0	13.3	20.0	14.0	20.0	13.3	20.0	13.3	●
(3)	チェックリスト（平成28年度検診分）やプロセス指標（平成26年度検診分）において問題が認められた検診機関に対して、実地による調査・指導等を実施しましたか <sup>注3)</sup>	17.8	11.1	17.8	11.1	17.8	11.6	17.8	11.1	17.8	11.1	●
解説：聞き取り調査だけで十分改善が期待できる場合には、(十分な改善が期待できない場合に実地調査・指導を行う体制ができていれば)実際に実地調査・指導を行ってなくても○とする												
(4)	実地調査等により不適正な検診機関が認められた場合には、市区町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しましたか <sup>注3)</sup>	11.1	8.9	11.1	8.9	11.1	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	●

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)											
<b>9. 事業評価の結果に基づく指導・助言 (平成28年度実施体制)</b>											
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しましたか	73.3	60.0	75.6	62.2	73.3	60.5	73.3	60.0	75.6	62.2	●
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市区町村や検診機関に配布しましたか	66.7	53.3	66.7	53.3	66.7	53.5	66.7	53.3	66.7	53.3	●
(1-2) 事業評価の結果について、市区町村や検診機関に対する説明会を開催しましたか	42.2	33.3	42.2	33.3	42.2	32.6	42.2	33.3	44.4	35.6	●
(2) 事業評価の結果に基づき、市区町村や検診機関に対して個別の指導・助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	60.0	55.6	62.2	57.8	62.2	60.5	62.2	55.6	62.2	55.6	●
(2-1) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	35.6	33.3	35.6	33.3	35.6	34.9	35.6	33.3	35.6	33.3	
(2-2) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	13.3	4.4	13.3	4.4	15.6	4.7	15.6	4.4	15.6	4.4	
解説: 個別検診受託医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)											
(2-3) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	48.9	46.7	51.1	48.9	51.1	48.8	51.1	48.9	53.3	48.9	
(2-4) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関への指導、助言を実施しましたか <sup>注3)</sup>	13.3	11.1	15.6	11.1	13.3	11.6	13.3	11.1	17.8	11.1	
解説: 個別検診受託医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)											
<b>10. 事業評価の結果の公表 (平成28年度実施体制)</b>											
(1) 何らかの事業評価の結果を、個別の市区町村や検診機関の状況も含めてホームページで公表しましたか	77.8	68.9	77.8	68.9	75.6	69.8	77.8	68.9	77.8	68.9	●
解説: 協議会や、都道府県内部での検討の議事録や、事業評価のために使用した資料の一部など、何らかの内容が公表されていれば○とする											
(1a) 上記(1) はがん部会として公表しましたか	53.3	44.4	53.3	44.4	51.1	44.2	53.3	44.4	53.3	44.4	
(1-1) 市区町村のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	48.9	42.2	48.9	42.2	46.7	41.9	48.9	42.2	48.9	42.2	
(1-1a) 上記(1-1) はがん部会として公表しましたか	31.1	24.4	31.1	24.4	28.9	23.3	31.1	24.4	31.1	24.4	
(1-2) 検診機関のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	40.0	17.8	40.0	17.8	37.8	18.6	40.0	20.0	40.0	20.0	
(1-2a) 上記(1-2) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか	28.9	8.9	26.7	8.9	26.7	9.3	28.9	8.9	28.9	8.9	
(1-2b) 上記(1-2) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか	22.2	6.7	20.0	6.7	20.0	7.0	22.2	6.7	22.2	6.7	
(1-3) 市区町村のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	68.9	60.0	68.9	60.0	66.7	60.5	68.9	60.0	68.9	60.0	
(1-3a) 上記(1-3) はがん部会として公表しましたか	46.7	37.8	46.7	37.8	44.4	37.2	46.7	37.8	46.7	37.8	
(1-4) 検診機関のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	13.3	11.1	13.3	11.1	11.1	11.6	13.3	11.1	13.3	11.1	
(1-4a) 上記(1-4) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか	11.1	8.9	11.1	8.9	8.9	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	
(1-4b) 上記(1-4) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか	11.1	8.9	11.1	8.9	8.9	9.3	11.1	8.9	11.1	8.9	
(1-5) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の市区町村名は必須です)	22.2	20.0	22.2	20.0	22.2	20.9	22.2	20.0	22.2	20.0	
(1-5a) 上記(1-5) はがん部会として公表しましたか	17.8	15.6	17.8	15.6	17.8	16.3	17.8	15.6	17.8	15.6	
(1-6) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の検診機関名は必須です)	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	9.3	8.9	8.9	8.9	8.9	
(1-6a) 上記(1-6) はがん部会として公表しましたか	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	7.0	6.7	6.7	6.7	6.7	

※ ●事業評価のためのチェックリスト (単位: %)

	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん		※
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	
回答数: 45都道府県(肺がん個別検診実施は43都道府県)											
(1-7)	精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の市区町村名は必須です)										
(1-7a)	上記(1-7)はがん部会として公表しましたか										
(1-8)	精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか <sup>注3)</sup> (指導先の検診機関名は必須です)										
(1-8a)	上記(1-8)はがん部会として公表しましたか										
(1-9)	都道府県チェックリストの遵守状況をホームページで公表しましたか										
(1-9a)	上記(1-9)はがん部会として公表しましたか										

注3) 指導対象の市区町村、検診機関がなかったため公表しなかった場合は「対象なし」とご回答ください。(「対象なし」は上記の実施率集計には含んでいません。)

【注意事項】

- ・平成28年度に実施された内容(実績)に基づき、回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答していただくようお願いしましたが、本調査結果では○の実施率のみ集計しています。
- ・市区町村別、検診機関別等の設問では、全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合にのみ○とご回答いただきました。なお、本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します。
- ・胃がん検診については、胃内視鏡検査/胃部エックス線検査で共に体制を満たしている場合にのみ○と回答していただきました。(都道府県全体で胃部エックス線検査のみ実施している場合は、胃部エックス線検査の実施体制について回答をお願いします。)

【本調査の対象年度について】

平成28年度のがん検診ご担当者が把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- ・平成28年度の検診体制(市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況)
- ・平成26年度の検診のプロセス指標<sup>※※</sup>

※※ 各都道府県の方針により、平成25年度のデータ(最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値)や平成27年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。

2-1. 都道府県別の結果及び評価結果一覧（胃がん検診・集団検診）

都道府県名	都道府県用チェックリストの遵守状況		胃がん部会の活動状況（○：実施済 △：今後実施予定はある ×：実施しない -：評価対象なし注1）；回答なし）										がん部会の活動評価		
	×の項目数 (61項目中)	チェックリストの評価	がん部会が公表した内容注2)												
			胃がん部会による 評価結果公表注2)	市町村 チェックリスト 遵守状況	検診機関 チェックリスト 遵守状況	市区町村の プロセス指標	検診機関の プロセス指標	改善指導 (市区町村が要改善) クリストが要改善)	改善指導 (検診機関が要改善) クリストが要改善)	改善指導 (精検受診率70%未満の市区町村)	改善指導 (精検受診率70%未満の検診機関)	都道府県 チェックリスト 遵守状況			
北海道	23	C	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	△	公表準備中
青森県	24	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
岩手県	29	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
宮城県	16	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
秋田県	16	B	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	×	B
山形県	23	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
福島県	18	C	○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○	C
茨城県	10	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	D
栃木県	22	C	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	A
群馬県	8	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	D
埼玉県	18	C	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	閉催準備中
千葉県	13	B	○	○	○	○	○	-	-	×	×	×	-	×	B
東京都	29	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
神奈川県	21	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	D
新潟県	9	B	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	○	B
富山県	16	B	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	閉催準備中
石川県	10	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
福井県	3	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A
山梨県	17	B	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	C
長野県	11	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	D
岐阜県	15	B	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	×	D
静岡県	45	D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	E
愛知県	37	D	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
三重県	24	C	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
滋賀県	4	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
京都府	8	B	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	閉催準備中
大阪府	14	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
兵庫県	47	D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	E
奈良県	34	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
和歌山県	9	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
鳥取県	14	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	D
島根県	20	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	C
岡山県	27	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
広島県	17	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
山口県	14	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
徳島県	未提出	E													E
香川県	22	C	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	△	公表準備中
愛媛県	18	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	C
高知県	33	C	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	公表準備中
福岡県	32	C	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
佐賀県	14	B	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	C
長崎県	24	C	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	C
熊本県	22	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
大分県	未提出	E													E
宮崎県	24	C	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	C
鹿児島県	12	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
沖縄県	21	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D

注1) 指通対象の市区町村、検診機関がなかったため「-」としています。

注2) 本調査では、がん部会として、管轄下の精度管理状況をどの程度公表されているかを示しています。

がん部会としてではなく、都道府県が主体的に公表されている場合は「×」としています。(都道府県による公表の有無は、都道府県用チェックリストの遵守状況に反映されています)



2-3. 都道府県別の結果及び評価結果一覧 (肺がん検診・集団検診)

都道府県名	都道府県用チェックリストの遵守状況		肺がん部会の活動状況 (○:実施済 △:今後実施予定はある ×:実施しない -:評価対象なし注1) ; 回答なし)										がん部会の活動評価		
	×の項目数 (61項目中)	チェックリストの評価	がん部会が公表した内容注2)												
			がん部会による 評価結果公表注2)	市町村 チェックリスト 遵守状況	検診機関 チェックリスト 遵守状況	市区町村の プロセス指標	検診機関の プロセス指標	改善指導 (市区町村が要改善) クリストが要改善)	改善指導 (検診機関が要改善) クリストが要改善)	改善指導 (精検受診率70%未満の市区町村)	改善指導 (精検受診率70%未満の検診機関)	都道府県 チェックリスト 遵守状況			
北海道	23	C	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	△	△	公表準備中
青森県	24	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
岩手県	29	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
宮城県	16	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
秋田県	16	B	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
山形県	22	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
福島県	17	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	C
茨城県	10	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	D
栃木県	21	C	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	A
群馬県	8	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
埼玉県	18	C	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	D
千葉県	13	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
東京都	28	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
神奈川県	40	D	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
新潟県	8	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	B
富山県	16	B	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	公表準備中
石川県	10	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
福井県	3	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A
山梨県	17	B	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	C
長野県	11	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
岐阜県	15	B	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	D
静岡県	44	D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	E
愛知県	45	D	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
三重県	24	C	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
滋賀県	4	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	D
京都府	8	B	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
大阪府	14	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
兵庫県	57	D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	E
奈良県	36	D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	E
和歌山県	10	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
鳥取県	11	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	D
島根県	20	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	C
岡山県	27	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
広島県	17	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
山口県	14	B	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
徳島県	未提出	E	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	E
香川県	22	C	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
愛媛県	18	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
高知県	34	C	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	公表準備中
福岡県	31	C	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D
佐賀県	14	B	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	C
長崎県	24	C	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	C
熊本県	22	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
大分県	未提出	E	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	E
宮崎県	24	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	C
鹿児島県	12	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B
沖縄県	21	C	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	D

注1) 指図対象の市区町村、検診機関がなかったため「-」としています。

注2) 本調査では、がん部会として、管轄下の精度管理状況をどの程度公表されているかを示します。

がん部会としてではなく、都道府県が主体的に公表されている場合は「×」としています。(都道府県による公表の有無は、都道府県用チェックリストの遵守状況に反映されています)



2-5. 都道府県別の結果及び評価結果一覧（子宮頸がん検診・集団検診）

都道府県名	都道府県用チェックリストの遵守状況		子宮がん部会の活動状況（○：実施済 △：今後実施予定はある ×：実施しない -：評価対象なし <sup>注1）</sup> ；回答なし）										がん部会の活動評価
	チェックリストの評価		がん部会が公表した内容 <sup>注2）</sup>										
	×の項目数 (6)1項目中)	がん部会による 評価結果公表 <sup>注2)</sup> の状況	子宮がん部会の 開催	がん部会による 評価結果公表 <sup>注2)</sup> の状況	市区町村 チェックリスト 遵守状況	検診機関 チェックリスト 遵守状況	市区町村の プロセス指標	検診機関の プロセス指標	改善指導 (市区町村が要改善) クリストが要改善	改善指導 (検診機関が要改善) クリストが要改善	改善指導 (精検受診率70%未満の市区町村)	改善指導 (精検受診率70%未満の検診機関)	
北海道	27	△	○	△	△	△	△	×	×	×	×	△	△
青森県	25	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
岩手県	37	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
宮城県	17	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
秋田県	18	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	×	×
山形県	22	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
福島県	18	○	○	○	△	×	×	△	△	×	×	○	○
茨城県	14	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×
栃木県	22	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
群馬県	8	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○
埼玉県	20	△	△	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×
千葉県	14	○	○	○	○	○	○	-	×	×	-	×	×
東京都	32	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
神奈川県	21	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○
新潟県	9	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○
富山県	18	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
石川県	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山梨県	17	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○
長野県	11	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○
岐阜県	16	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×
静岡県	48	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
愛知県	41	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三重県	25	○	○	△	△	△	△	×	×	×	×	△	△
滋賀県	4	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	×	×
京都府	10	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
大阪府	15	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
兵庫県	50	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
奈良県	41	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
和歌山県	10	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
鳥取県	19	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
島根県	25	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
岡山県	31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県	18	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
山口県	15	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
徳島県	未提出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	25	○	○	△	△	△	△	×	×	×	×	△	△
愛媛県	19	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
高知県	35	○	○	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×
福岡県	35	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
佐賀県	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長崎県	26	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
熊本県	24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大分県	未提出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿児島県	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
沖縄県	27	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

注1) 指図対象の市区町村、検診機関がなかったため「-」としています。

注2) 本調査では、がん部会として、管轄下の精度管理状況をどの程度公表されているかを示します。

がん部会としてではなく、都道府県が主体的に公表されている場合は「×」としています。(都道府県による公表の有無は、都道府県用チェックリストの遵守状況に反映されています)

3-1. 都道府県別の総合評価（胃がん検診・集団検診）

赤枠内は要改善の都道府県を示す

		調査2 胃がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況												合計		
		部会開催済										開催準備中			開催予定なし	
		公表状況				公表準備中										
		A	B	C	D							E				
調査1 都道府県用 チェックリスト の遵守状況	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	B	1	福井	5	秋田・千葉・新潟・石川・鹿児島	2	山梨・佐賀	11	宮城・茨城・群馬・長野・岐阜・滋賀・大阪・和歌山・鳥取・広島・山口	-	-	2	富山・京都	-	-	21
	C	1	栃木	2	岡山・熊本	5	福島・島根・愛媛・長崎・宮崎	8	青森・岩手・山形・東京・神奈川県・奈良・福岡・沖縄	4	北海道・三重・香川・高知	1	埼玉	-	-	21
	D	-	-	-	-	-	-	1	愛知	-	-	-	-	2	静岡・兵庫	3
	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	徳島・大分	2
合計	2		7		7		20		4		3		4		47	

3-2. 都道府県別の総合評価（大腸がん検診・集団検診）

赤枠内は要改善の都道府県を示す

		調査2 大腸がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況												合計		
		部会開催済										開催準備中			開催予定なし	
		公表状況				公表準備中										
		A	B	C	D							E				
調査1 都道府県用 チェックリスト の遵守状況	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	B	1	福井	5	秋田・千葉・新潟・石川・鹿児島	2	山梨・佐賀	10	宮城・茨城・群馬・長野・岐阜・滋賀・大阪・鳥取・広島・山口	-	-	2	富山・京都	-	-	20
	C	1	栃木	2	岡山・熊本	4	福島・島根・長崎・宮崎	8	青森・岩手・山形・東京・神奈川県・愛媛・福岡・沖縄	4	北海道・三重・香川・高知	1	埼玉	1	和歌山	21
	D	-	-	-	-	-	-	1	愛知	-	-	-	-	3	静岡・兵庫・奈良	4
	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	徳島・大分	2
合計	2		7		6		19		4		3		6		47	

3-3. 都道府県別の総合評価（肺がん検診・集団検診）

赤枠内は要改善の都道府県を示す

		調査2 肺がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況												合計		
		部会開催済										開催準備中			開催予定なし	
		公表状況				公表準備中										
		A	B	C	D			E								
調査1 都道府県用 チェックリスト の遵守状況	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	B	1	福井	4	千葉・新潟・石川・鹿児島	3	福島・山梨・佐賀	11	宮城・茨城・群馬・長野・岐阜・滋賀・大阪・和歌山・鳥取・広島・山口	1	秋田	2	富山・京都	-	-	22
	C	1	栃木	2	岡山・熊本	3	島根・長崎・宮崎	7	青森・岩手・山形・東京・愛媛・福岡・沖縄	4	北海道・三重・香川・高知	1	埼玉	-	-	18
	D	-	-	-	-	-	-	2	神奈川・愛知	-	-	-	-	3	静岡・兵庫・奈良	5
	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	徳島・大分	2
合計	2		6		6		20		5		3		5		47	

3-4. 都道府県別の総合評価（乳がん検診・集団検診）

赤枠内は要改善の都道府県を示す

		調査2 乳がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況												合計		
		部会開催済										開催準備中			開催予定なし	
		公表状況				公表準備中										
		A	B	C	D			E								
調査1 都道府県用 チェックリスト の遵守状況	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	B	1	福井	5	秋田・千葉・新潟・石川・鹿児島	2	山梨・佐賀	9	宮城・茨城・群馬・長野・岐阜・滋賀・大阪・鳥取・山口	-	-	2	富山・京都	1	和歌山	20
	C	1	栃木	2	岡山・熊本	4	福島・島根・長崎・宮崎	9	青森・岩手・山形・東京・神奈川・広島・愛媛・福岡・沖縄	4	北海道・三重・香川・高知	1	埼玉	-	-	21
	D	-	-	-	-	-	-	1	愛知	-	-	-	-	3	静岡・兵庫・奈良	4
	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	徳島・大分	2
合計	2		7		6		19		4		3		6		47	

3-5. 都道府県別の総合評価（子宮頸がん検診・集団検診）

赤枠内は要改善の都道府県を示す

		調査2 子宮がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況												合計		
		部会開催済										開催準備中			開催予定なし	
		公表状況				公表準備中										
		A	B	C	D							E				
調査1 都道府県用 チェックリストの 遵守状況	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	B	1	福井	4	千葉・新潟・石川・鹿児島	2	山梨・佐賀	9	宮城・茨城・群馬・長野・岐阜・滋賀・大阪・和歌山・山口	-	-	1	京都	-	-	17
	C	1	栃木	3	秋田・岡山・熊本	4	福島・島根・長崎・宮崎	9	青森・山形・東京・神奈川・鳥取・広島・愛媛・福岡・沖縄	4	北海道・三重・香川・高知	2	埼玉・富山	-	-	23
	D	-	-	-	-	-	-	2	岩手・愛知	-	-	-	-	3	静岡・兵庫・奈良	5
	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	徳島・大分	2
	合計	2		7		6		20		4		3		5		47